

可視化されたトランスジェンダー差別  
— 2018年お茶の水女子大学の受け入れ表明以降 —

日時 2020年11月27日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 宮田りりい（非常勤研究員）・堀あきこ（非常勤研究員）

2018年7月、お茶の水女子大学は、2020年度からトランスジェンダー学生を受け入れると発表しました。さらに、この発表以降、他の女子大学でもトランスジェンダー学生受け入れ発表が相次ぎました。大学で学ぶ権利という観点から、性のあり方によってそれが奪われることは不当な権利侵害にあたるといえます。それゆえ、これらの発表は、トランスジェンダー学生の権利を保障する上で極めて重要な動きと位置づけられます。

しかし、受け入れ発表後、twitterにはトランス女性をペニスのついた男性や性犯罪者予備軍と同一視する差別的な投稿が増加しました。これらの投稿の多くは、フェミニストを公言する人々によるもので、女性の性被害の可能性を訴えるものや、トランス女性を男性とみなしたうえで男女の権力関係を問うものでした。

こうした差別的な投稿の増加を受け、2019年12月に関西で「きんきトランス・ミーティング」(KTM)が結成されました。KTMは、トランスジェンダーの人権問題への理解を深めることをめざした活動として、カフェイベントを行ったり、人権問題研究室の後援を受けてシンポジウムを行ったりしています。

このような活動が生まれた一方、twitterだけでなく、一般書店に並ぶ雑誌『現代思想』のフェミニズム特集や、女性をつなぐ総合情報サイト「WAN」にも、トランス女性に対する差別的な文章が掲載され、トランス女性の人権とシス女性の人権が対立するものであるかのような「議論」が行われています。この公開講座では、トランスジェンダー差別に関する一連の動きを整理した上で、今後この問題を考えていく上で重要となる論点を提示します。

\* \* \*

●聴講無料  
(定員80名／先着順)  
<事前申込制>

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

※受講申込にあたっては、以下の〔新型コロナウイルス感染予防対策〕にご留意のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。

〔新型コロナウイルス感染予防対策〕

- 受講者はマスクを必ず着用してください（マスク着用でない場合、受講はご遠慮ください）。
- 受講者は受付で手指消毒用のアルコールにて消毒してください（会場内は事前に消毒を行っています）。
- 座席は間隔を空けて設定いたします。また演台に近い座席は使用しません。
- 換気のため、会場の出入口のドアは講演中も開放いたします。
- 三密対策として、会場内やロビーでの談笑はご遠慮ください。
- 当日、体調不良の方、特に喉の痛み、咳、および熱のある方（体温が37.5℃以上の方）の受講はご遠慮ください。当日は入場時に検温を行います。
- 参加者に感染者が発生した場合は必要に応じて、保健所など公的機関へ氏名および連絡先の情報が提供されることがあります。
- 接触確認アプリCOCOAのインストールを推奨します。
- 感染拡大の際は、講座の開催を中止する場合があります（その場合、受講申込者に連絡いたします）。

手話通訳が必要な場合は、11月5日(木)までに人権問題研究室へご連絡ください。



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>